

平成28年度

# 目白大学 卒業生アンケート 実施報告

## 実施の背景と目的

目白大学を卒業する学生対象に、今後の教育や学生支援体制をさらに充実させることを目的とした「卒業生アンケート」を実施しました。

## 実施の方法

2017年3月に大学を卒業する学生を対象に、2月～3月に調査を行いました。登校日や各学科の学位授与会場にて紙の調査票を配布し回答してもらう形式での調査でした。

## この報告について

平成28年度の卒業生は、約1200名おり、このアンケートには約85%である1059名から回答を得ました。

この報告では、皆さんからの回答の内容やその傾向について説明し、本学として今後取り組む内容についてご紹介します。

目白大学 教育研究所 IR部門 2017年7月

この報告についての問合せ先：目白大学教育研究所  
kyouiku@mejiro.ac.jp  
03-5996-3187

**目白大学教育研究所**

Research Institute for Education of Mejiro University

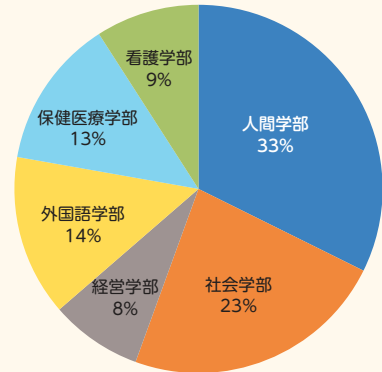
<http://www.mejiro.ac.jp/kyouiku/>

# 1 回答者属性

## 学部別回答率

**今** 回の調査は回収率が極めて高く、特定の学部からの回答率が高かったり、同じく低かったりすることはなく、本学の各学部の人数比とほぼ同じ割合になっています。

実際に、学部別の回答率は、人間学部が33%、社会学部が23%、経営学部が8%、外国語学部が14%、保健医療学部が13%、看護学部が9%という内訳でした。

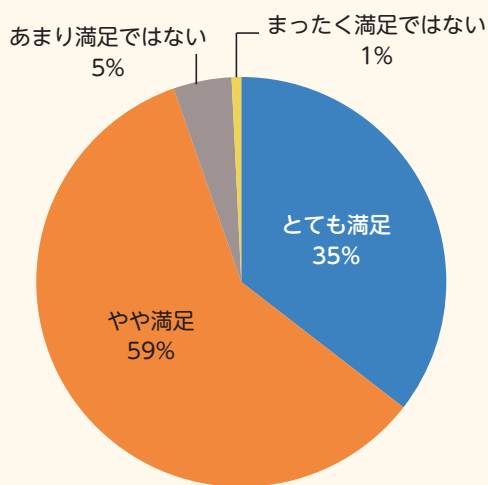


## 男女別回答率

**男** 女別の回答割合も、本学の男女比率にほぼ同じで、男性からの回答が33%、女性からの回答が67%でした。



# 2 教育に対する満足度



**教** 育に対する満足度は「とても満足」、「やや満足」、「あまり満足ではない」、「全く満足ではない」の4件法で聞いています。「とても満足」と「やや満足」をあわせると94%の学生が満足と答えており、教育への満足度は高い傾向です。

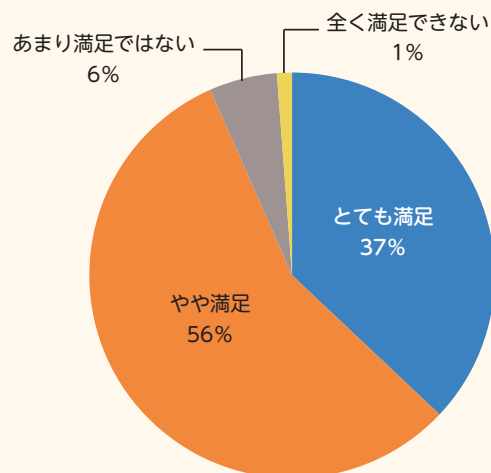
自由記述の内容については、満足と答えた学生から、ゼミや授業への好意的な感想があった一方、満足ではないと答えた学生からは、授業の仕方や内容、ゼミの運営や内容に関する意見があり、今後教員研修などを通して、授業やゼミ運営の仕方や体制を改善し、更に良い教育を提供できるよう大学全体で進めていく予定です。

### 3 学生生活・施設設備に対する満足度

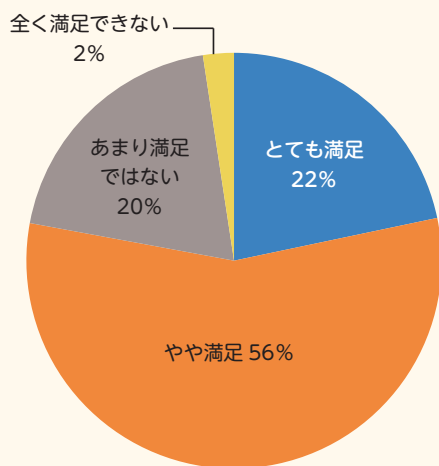
#### 学生生活全体に対する満足度

**学** 学生生活全体に対する満足度は「とても満足」と「やや満足」を合わせて93%の学生が満足と回答しており、満足度は高い傾向です。

学生生活に関する自由記述の内容については、就職支援についての意見、サークル活動への支援についての意見がありました。支援の内容をさらに充実させつつ、学生の皆さんへの情報提供の仕方も拡充しながら、学生生活が一層充実したものとなるよう、工夫していきます。



#### 施設・設備に対する満足度



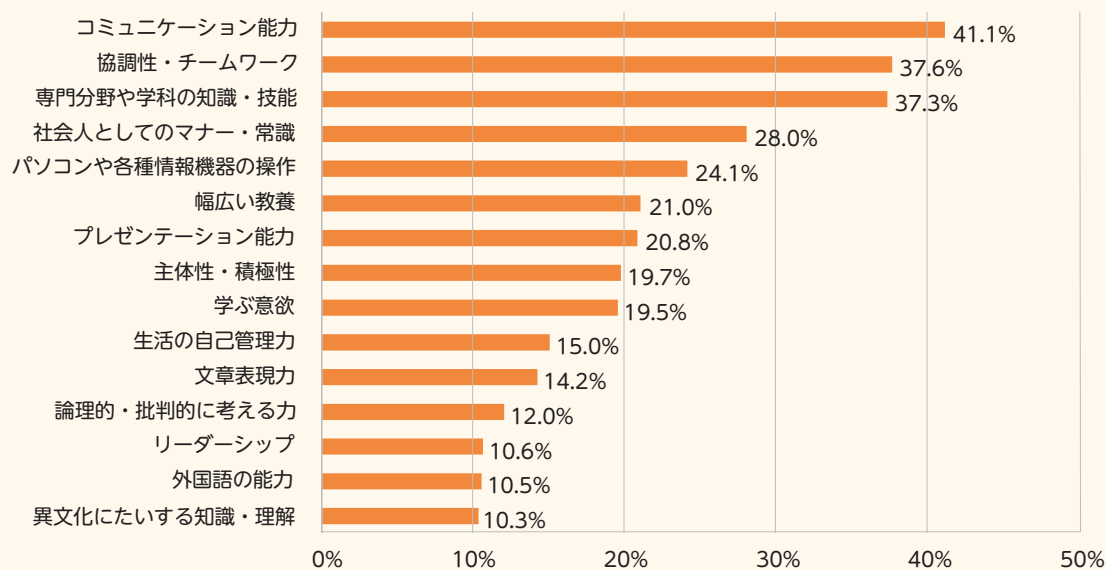
**施** 施設・設備に対する満足度は「とても満足」と「やや満足」を合わせて78%の学生が満足と回答しています。他の設問と比べて満足の割合がやや低い傾向でした。

自由記述の内容については、学食、図書館、PC環境、Wi-Fi環境など学内の様々な施設・設備についての要望がありました。

本学は、学生の皆さんが快適に過ごせる施設・設備を整備することがとても重要だと考えています。順次整備を進めていきます。

早速要望を受けて、  
10号館2階ネットカフェに  
プリンタが配置されました！

## 4 在学中に向上したと思う知識や技能



**在** 学中に向上したと思う知識や技能は、向上したと思う項目に○をしてもらう方式（複数選択式）で回答してもらいました。多くの人が向上したと思う項目順に、「コミュニケーション能力（41.1%）」、「協調性・チームワーク（37.6%）」、「専門分野や学科の知識・技能（37.3%）」と続きます。一方で、10%程度しか向上したと思われていない項目は、「リーダーシップ（10.6%）」、「外国語の能力（10.5%）」、「異文化にたいする知識・理解（10.3%）」などが有ります。

本学ではフレッシュマン・セミナーをはじめ、様々な授業で学生同士や、学生と教員がコミュニケーションをとることができるような科目を多く配置しています。その結果、コミュニケーション能力や協調性は身についたと感じる人が多い一方で、外国語や異文化への理解などに課題があります。今後、1つ1つの科目の内容をより充実し、より分かりやすく教授できるようにしたり、講義だけではなくグループワークなども取り入れるなど、授業方法は更に工夫していくと同時に、カリキュラム全体の見直しも行いながら、大学の理念である「育てて送り出す」大学としての役目を果たすべく、力を入れていきます。

このアンケートの結果は、報告書を作成した上で、全教職員が確認できるようにしました。このアンケートから見えた結果や傾向は、早速本学をより良くするための改革や改善のために有効に活用しています。

今後さらに皆さんの学生生活が充実し、また卒業時により満足して卒業していただけるよう、大学全体で更に工夫を続けていきます。

今回アンケートに答えてくださった卒業生の皆さん、ありがとうございました。